



市民ネットワーク鶴ヶ島は  
大野ひろ子を市議会に送っています

9月議会報告 2011.11.1

発行 / 市民ネットワーク鶴ヶ島  
鶴ヶ島市富士見2-12-15  
<http://www.h-ohno.com/>



# 原子力に頼らない エネルギー政策を

東日本大震災と津波の被害に加え、東京電力福島第一原子力発電所が引き起こした事故から7ヶ月が過ぎました。家族や家、職そして住みなれた故郷を失った被災者のみなさんの辛苦はいかほどか、心痛む日々です。

放射性物質による汚染は、広範囲な地域に広がっていることが目を追うごとに明らかになっていきます。正確な情報が得られないまま、なすすべもなく過ぎていく時間、程度の差はあるものの多くの食べ物が汚染されていると考えざるを得ない状況に対して、どう向き合っていくべきか。

## ▼正確なデータの公表を

国は暫定基準値を決めて、それを超えないものであれば流通させていきますが、基準値以下であれば安全と断言できるわけではありません。

国と東京電力には、食品の放射線量を測定し正確なデータを公表し、ひとり一人が数値をみて選択することを保障するとともに、生産者が再起できるような早急に手立てすることを求めます。

## ▼子どもたちに安全な食べ物を

国が「原発は安全」と言い続けてきたとはいえ、原子力による電気を享受してきた現役世代には責任があるのではないでしょうか。何の責任もない子どもたちの未来を守るのは大人の責任です。放射線の影響を受けやすい子どもたちに、汚染されていない食べ物を、

優先的に提供したいものです。

## ▼未来のエネルギーを選ぶ

もともと原子炉は、地球上で最も毒性が強い物質のひとつであるプルトニウムを生成しています。

日常的に猛毒物質を生み出し、一度事故がおきれば広大な土地や海を汚染して取り返しのつかない事態に陥るエネルギーを使ってまで、利便性を追求し続けてよいのだろうか。

私たちは、数十年後にどのようなエネルギーを使っていたのか、今、その選択が迫られています。国には、原子力発電所を増設しないこと、自然エネルギーを中心に据えたエネルギー政策への転換への計画づくりを早急に始めることを求めます。

## 生活クラブ生協は

### 放射能検査を

### 全品目で実施・公開

生活クラブ生協は、生産者と組合員が同じ目線で安全を考慮した食品づくりを40年以上積み重ねてきました。この信頼のもとに、生産者による自主検査、生活クラブによる放射能全品目検査を実施し、検査結果はすべてホームページで公開しています。